

情報提供資料

TDAMフォワード・ルッキング・リサーチ

債券運用部 ストラテジスト兼ファンドマネージャー 浪岡 宏

2021年1月20日

～新規感染者数と政治～

新型コロナウイルスの感染拡大が続くなか、菅内閣に対する批判的な報道がなされたり、支持率低下についての報道も見られます。世論調査などをみると、「緊急事態宣言が遅すぎた」との声も多いようです。

振り返れば、安倍政権から菅政権に移行した約4カ月前に、誰がこのような状況を予想できたでしょうか。当時は足許に比べ感染者数も抑えられていたなか、菅総理が各種改革をしていくのでは、という期待も高まっていました。株式市場では、菅氏ならばアベノミクスを継承するという見方もあり、株価への悪影響は限定的でした。

今年は、9月に自民党総裁任期満了、10月に衆議院議員任期満了を控えており、菅総理も年頭の記者会見で「秋までのどこかでは衆院選を行わなければならない」と発言しています。もっとも、実際には「秋のどこかで」と発言し、それを後に「秋までのどこかは」に訂正しているところを踏まえると、本心ではやはり「秋のどこかで」が念頭にあるのではと勘繰ってしまいます。

問題は、その衆院選がどういった結果となるのか、という点です。それを占う上でも4月に行われる予定の衆院北海道2区と参院長野選挙区の2つの補欠選挙が注目されます。

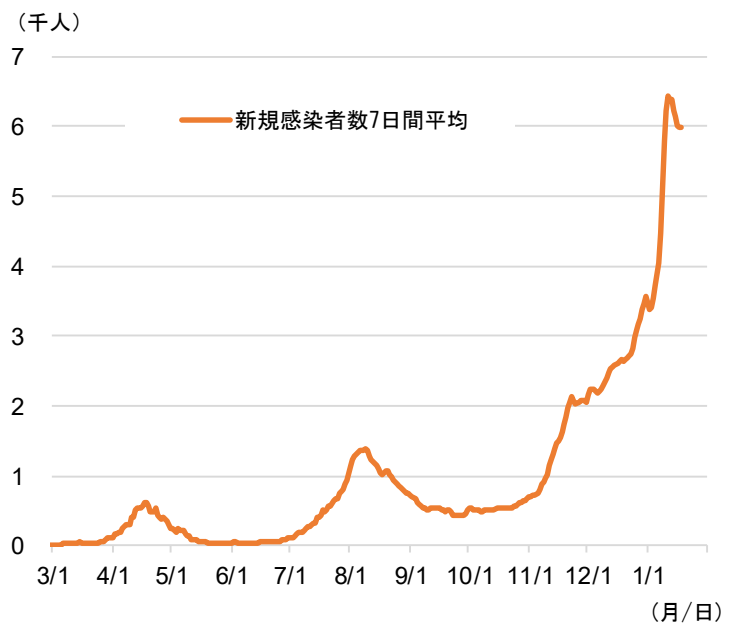
この補欠選挙についての下村政調会長の発言に二階幹事長が不快感を示したと報道されるなど、メディアは自民党内の動きにも注目しているようです。

しかし私としてはそうした動き以上に、ここのところ世論に強く影響を及ぼしていると思われる新規感染者数がどうなるかに、もっとも注目しています。

無論、政治への影響だけではなく実体経済や株価への影響、そして医療体制への影響という点からも、高水準である現状に警戒を強めています。

もしも感染者数の抑え込みに失敗すれば、実体経済の悪化からだけではなく、政治の不安定化からも株価に影響を及ぼさないか、目配りしておきたいところです。

新型コロナウイルス新規感染者数(日本)



期間：2020年3月1日～2021年1月18日(日次データ)

出所：ブルームバーグをもとにT&Dアセットマネジメントが作成

【ご留意事項】本資料は、T&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したご参考資料であり、投資勧誘を目的としたものではありません。したがって、個別銘柄に言及した場合でも、関連する銘柄の当社ファンドへの組入れを約束するものでも、売買を推奨するものでもありません。本資料は、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。本資料は、当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。本資料中の数値・グラフ等の内容は、過去の状況であり、将来の市場環境等を示唆・保証するものではありません。本資料は作成時点での見解であり、今後予告なく変更する場合があります。ご投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断ください。